

令和5年度 第3学期始業式 式辞

冬休みが終了し今日から3学期です。

3年生は中学校最後の45日間、1、2年生は学年のまとめと進級の準備をする51日間です。

1、2、3月はそれぞれ、行く1月、逃げる2月、去る3月と例えられます。あっという間に時間が過ぎ去るということです。今日立てた予定がクリヤできたか、を振り返り、反省を活かして次のプランやスケジュールを立てることが大切です。

明日どうなるかがわからない時に、不安になり、自信が持てなくなります。

1/1午後4時、「能登」大地震が起きました。亡くなった方は今日までに160人を越えました。ご冥福を祈りましょう。避難所の様子が毎日報道されています。何が足りないのか、どうして欲しいのか、についてはよく見ておいてください。棚倉でも大きな災害が起きれば皆さんがいるここが避難所です。能登半島の多くの中学生は始業式を迎えられず、登校できません。家でゲームもできません。そういう状況ではないです。明日からどうなるかがわからないのです。避難している皆さんがその立場ならばどんなことをしますか。13年前大きな災害を経験した私達は、能登大変な状況がよくわかります。皆さんは0～2歳でしたから覚えていませんね。まず報道をしっかりと見て学んで下さい。

3学期、今ある普通の幸せに感謝して、3つのことに取り組んでください。全てやっている事ですので、本気でやっ
ていきましょう。

- 1 振り返りと目標、予定づくり
フォーサイト手帳とキャリアパスポートの活用。
- 2 日本国内どこでも通用する、元気ある挨拶を交わす事。
- 3 棚中生としての誇りの象徴
校歌をしっかりと歌える事。

これらの実践は自分の心で決めたことを、見られようと見られまいと実行する「自主貢献」そのものです。

棚中魂を見せていきましょう。